

南小だより

佐世保市立吉井南小学校
№39 R. 4. 2. 25 (金)
文責：山口伸一郎

「特別支援学級交流会」が実施されました。

昨日、本校・吉井北小・吉井中の3校が連携し、互いの親睦を深めることを目的に毎年行っている、「特別支援学級交流会」が実施されました。本来であれば、いずれかの学校で一堂に会して実施するのですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響も考え、今年度はそれぞれの学校にしながら、リモートミーティングで実施しました。

本校には、特別支援学級として、くすのき学級、なかよし学級、たんぼぼ学級の3学級があり、計6名の児童が在籍しています。今回の交流会には、二人一組で計3台の端末を使用し、全員が参加して交流を楽しむことができました。主に、吉井中の生徒が企画してくれた会次第に則り、それぞれに自己紹介を行った後、それぞれの学校から持ち回り

で出し物を行いました。北小からはクイズ、本校からはアドジャンというジャンケンを活用したコミュニケーションゲーム、吉井中からは学校紹介クイズが行われ、リモート越しではありましたが、みんなで楽しい一時を過ごすことができました。本会は子どもたちにとって、一年に一度の北小や中学校との貴重な交流の機会であり、他校の友だちと触れ合ったり中学生の先輩方のリーダーシップを実感したりすることで、多くのことを学ぶことのできる機会となっています。今回は、みんなが直接顔を合わせ、同じ場所で同じ時間を共有することはできませんでしたが、それでもこのようにみんなの様子を見ながら交流ができたことは、とても意義のあることであつたと考えます。

本校では、3つの特別支援学級の児童が、自分の学級だけでなく、教科によって同じ学年のクラスで授業交流を行っています。個に応じた学びを行いながら、友だちとも助け合って共に学ぶことで、充実した教育活動となるように日々努めているところです。「一人ひとりが他の人のことを尊重し、認め合って生活していくこと」は、誰にとっても大切なことであると考えます。これからも、子どもたち一人ひとりが認め合い、助け合って伸びていける吉井南小学校をめざしていきたいと思っています。



卒業式に向けて、いろいろな準備がスタートします。

令和3年度の卒業式は、3月17日(木)に予定されています。6年生の卒業に向けて、いろいろな準備や活動がスタートしています。その一つが、お別れ集会の準備です。通常であれば、この集会も体育館で全校一堂に介して行うのですが、コロナ禍ということで、昨年度同様に、今年度もリモート配信による集会が予定されています。現在、1～5年生は、お世話になった6年生へ感謝とお祝いの気持ちを表すために、6年生は後を引き継ぐ在校生のことを思いながら、それぞれに準備を行っているところです。

また、今後は卒業式実施に向けて、練習はもちろん、清掃活動や掲示物作成等の環境整備についても、皆が協力し合って計画的に準備が行われていきます。卒業式は学校行事の中でも、とても大きな行事の一つであり、6年生の小学校生活を締めくくるとても大切な行事です。6年生には、お家の方々にはもちろん、ここまで関わっていただいた様々な方々に、感謝の気持ちを持ち、南小最高学年としての誇りをしっかりと胸に抱きながら、晴れの卒業の日を迎えてほしいと願っています。すばらしい卒業式を実現するために、全校児童で思いを一つにしなが、準備を進めたいと思います。

